

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

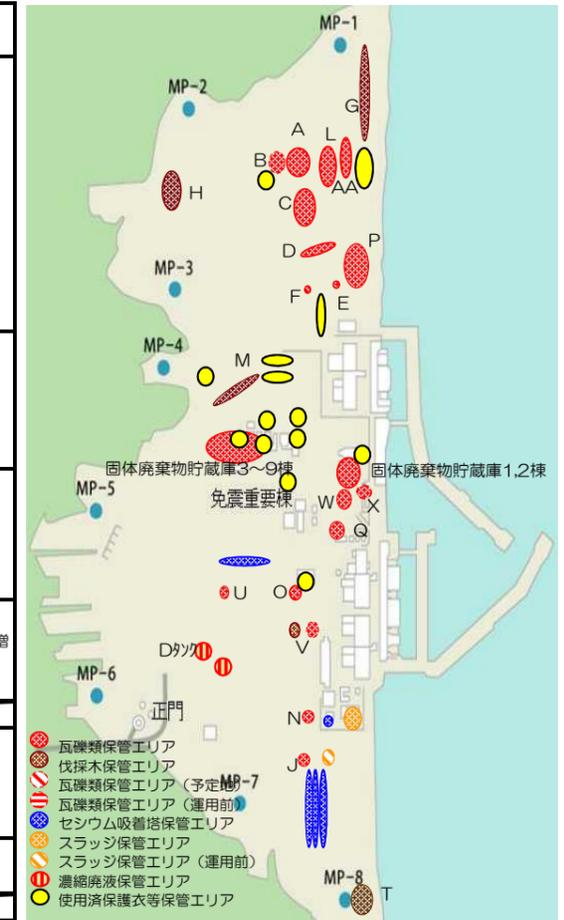
分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9月							10月							11月							12月			1月			備考										
				22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19		26	2	9	16	23	30	6	13	20	27
固体廃棄物の保管管理・処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・足場材貸出による再使用	検討・設計	ガレキ減容・運搬・保管																																				
			(予定) ・足場材貸出による再使用	現場作業	足場材貸出による再使用																															・2017年3月27日：足場材貸出運用開始					
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・運用中	検討・設計																																・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可						
		(予定)	現場作業	運用中																															・2018年1月：竣工 ・2018年2月：運用開始						
	大型廃棄物保管庫の設置	(実績) ・準備工事（掘削、地盤改良等）	検討・設計																																						
		(予定) ・準備工事（掘削、地盤改良等）	現場作業	準備工事 2019年6月3日～																															・基礎工事 工程調整中 ・鉄骨・外壁・屋根工事 工程調整中						
	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・運用中	検討・設計																																・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解						
(予定)		現場作業	運用中																															・2019年3月：設置工事完了 ・2019年4月：運用開始							
一時保管エリアの追設/拡張	(実績)	検討・設計																																							
	(予定)	現場作業																																・2017年6月14日：使用前検査（エリアG12槽分） ・2017年8月9日：使用前検査（エリアG22槽分）							
2. 保管適正化の推進	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 (A・B系)	現場作業																																						
		(予定) ・処理運転 (A・B系)	現場作業																																【A系】 ・処理運転再開 2019年8月10日～ ・運転停止 2019年10月12日～10月17日 排気筒の排ガスモニタリング配管（筒系共用部の屋外配管）の温度低下を確認したため、焼却運転を停止。不具合箇所を特定し、焼却運転に必要な処置を行った上で復旧。 【B系】 ・処理運転再開 2019年9月19日～ ・運転停止 2019年10月12日～10月17日 A系と同様。 はい運測定の実施 A系：2019年10月9日 B系：2019年10月10日						

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.9.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率(mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.8.30 - 2019.9.30)	変動理由 ^{※2}	エリア占有率	保管量 ^{※3} /保管容量(割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0 m ³	—	100%	200900 / 252700 (80%) ・フランジタンク解体片 2019年9月末時点でコンテナ959基保管。 エリアP1 コンテナ数：634基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：325基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	63,100 m ³	+200 m ³	①②	100%	
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%	
		J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78%	
		N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96%	
		O	屋外集積	0.01未満	42,800 m ³	+200 m ³	③④	83%	
		P1	屋外集積	0.01未満	51,200 m ³	-200 m ³	①②③⑤	80%	
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%	
		V	屋外集積	0.01	5,000 m ³	0 m ³	—	83%	
		AA	屋外集積	0.01未満	10,700 m ³	+500 m ³	①⑤	29%	
瓦礫類	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	39200 / 71000 (55%) ・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,200 m ³	0 m ³	—	89%	
		P2	シート養生	0.01	5,700 m ³	微増 m ³	②	63%	
		W	シート養生	0.03	8,800 m ³	+400 m ³	①②⑥	30%	
瓦礫類	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	18100 / 31700 (57%) ・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.14	900 m ³	微減 m ³	⑦	12%	
		E2	容器 ^{※4}	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	31%	
		F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%	
瓦礫類	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	18,100 m ³	+600 m ³	②③⑦	40%	18100 / 45600 (40%) ・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)	
		合計(カレキ)			276,200 m ³	+1,700 m ³	—	69%	
		合計(伐採木)			134,100 m ³	微減 m ³	—	76%	
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63%	96800 / 134000 (72%)
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%	
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	微減 m ³	⑥	88%	
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増 m ³	⑧	2%	
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
保護衣	屋外集積	容器	0.04	54,900 m ³	-1,600 m ³	⑨	80%	54900 / 68300 (80%) ・使用済保護衣等焼却量 5936t (2019年9月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1446本 (2019年9月末累積)	
				合計(使用済保護衣等)			54,900 m ³	-1,600 m ³	—

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
 ⑥エリア整理のための移動(M→W1) ⑦エリア整理のための移動(A→固体庫) ⑧伐採木受入 ⑨焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

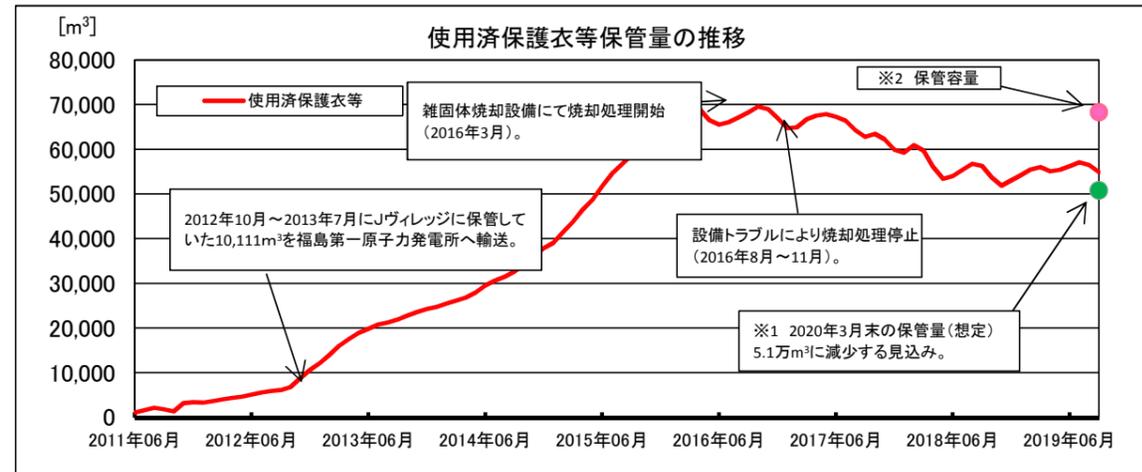
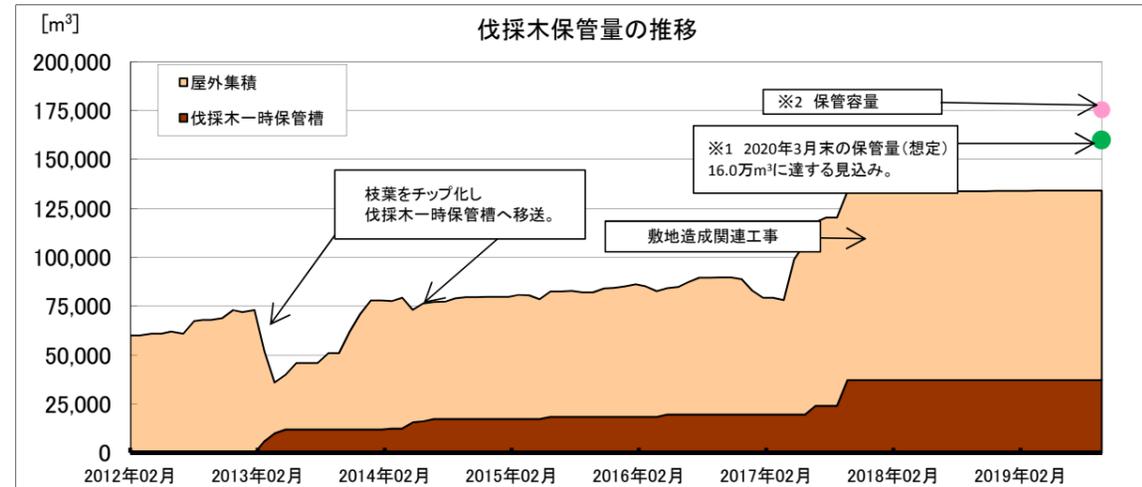
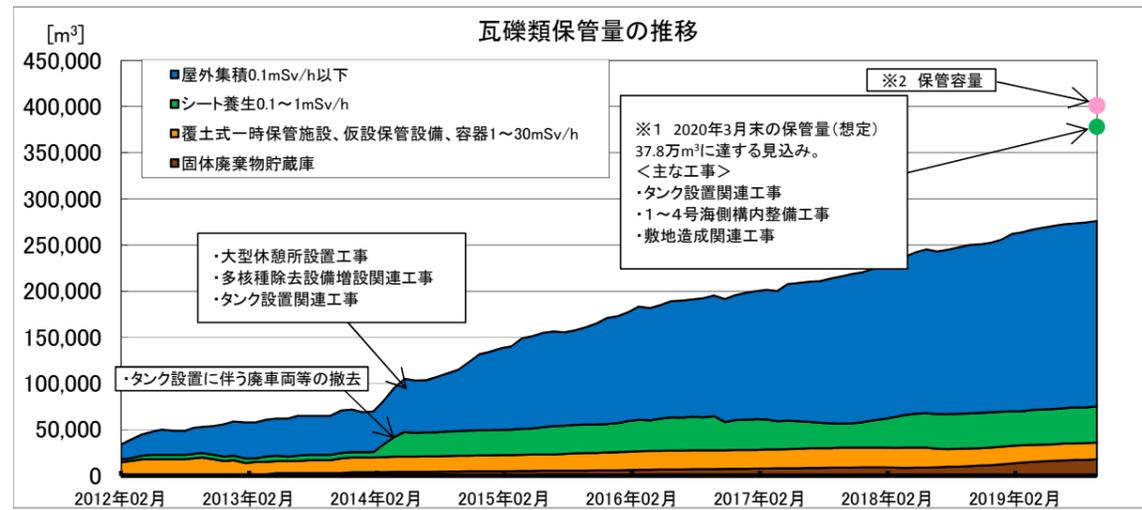


水処理二次廃棄物の管理状況(2019.10.3時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減(2019.9.5 - 2019.10.3)	保管量/保管容量(割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4493 / 6372 (71%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	222 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,644 ^{※1} 基			+5 基
			増設	1,556 ^{※2} 基			+17 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		207 本	0 本				
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,380 m ³	-11 m ³	9380 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9280 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,644基 【誤】1,627基 (2020.3.4)
 ※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,556基 【誤】1,573基 (2020.3.4)

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.9.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.10.3時点)

